

今年度は忠南大学校獣医科大学から推薦された2名の若手教員を本学に迎え、国際シンポジウムと今後の共同研究の打ち合わせを行い、今後の両大学間の学術交流の充実と発展について新たな成果を得ることができました。

招聘した2名の国立忠南大学校 獣医科大学・助教授 Young Won Lee (イ・ヨン・ウオン) 先生および Seong Mok Jeong (チョン・ソン・モク) 先生は10月23日に千歳空港に到着されたのち、帯広駅まで来られました。24日は本学を訪問されて、獣医学科での研究交流を行うとともに、翌日に開催が予定されている、国際シンポジウムの打ち合わせを行いました。

10月25日に本学で開催した国際シンポジウムでは、学長の挨拶に引き続いて、本学教員(2名)を含む3名の日本人研究者からの研究成果の発表を行いました。

1. Blood flow: A new diagnostic tool for ovarian function in the cow
Dr. M Matsui (Obihiro University of Agric. & Vet. Med.)
乳牛の卵巣機能評価に資するカラードップラーによる血流の解析 (帯畜大 松井基純)
2. Changes in uterine blood flow around parturition in Thoroughbred mares -Color Doppler Ultrasonography in Uterine Arteries-
Dr. Y. Nambo et al. (JRA Hidaka training and research center)
雌馬の周産期の子宮血流の変化 (JRA 南保泰雄)
3. Computer-aided Diagnosis (CAD) with CT and Image Processing Workstation in the Veterinary Medicine - "Understandable interpretation" with CAD-
Dr. K Yamada (Obihiro University of Agric. & Vet. Med.)
小動物臨床分野におけるCTの活用 (帯畜大 山田一孝)

引き続き、招待講演として2題の演題が披露されました。

1. Evaluation of Traumatic Intracranial Hemorrhage using CT and MRI in Dogs
Dr. Seong Mok Jeong (College of Vet. Med. • Research Institute of Vet. Med., Chungnam National University, Korea)
犬の外傷性脳内出血のCTとMRIによる評価 (忠南大学 Dr. Seong Mok Jeong)
2. Fluid Accumulation in Canine Tympanic bulla :Radiography, CT and MRI Evaluations
Dr. Young Won Lee Jeong (College of Vet. Med. • Research Institute of Vet. Med., Chungnam National University, Korea)
犬の鼓室胞内液貯留例のレントゲン、CTとMRIによる評価 (忠南大学 Dr. Young Won Lee)

この国際シンポジウムには獣医学科6年次学生が多数参加し、熱心な質疑と応答が行われたことが印象的でした。



国際シンポジウムの講演者（左から本学 山田一孝助教授，国立忠南大学校 獣医科大学・助教授 Young Won Lee（イ・ヨン・ウオン）先生 4人目 国立忠南大学校 獣医科大学・助教授 Seong Mok Jeong（チョン・ソン・モク）先生，本学 松井基純助手，JRA 日高育成牧場 南保泰雄先生）

国際シンポジウム終了後，10月26日には北海道大学獣医学部を表敬訪問して，獣医学研究の進展に関する交流を深めることが出来ました。最終日の27日は今後の継続的な交流について打ち合わせを行い，午後無事に韓国に帰国されました。

なお，本学と学術交流協定を締結している大学間でこのように12年間に渡って定期的に教員の相互訪問による学術交流がなされている実績は強調に値すると思います。

以上，報告申し上げます。

キーワード：国際交流，韓国，忠南大学校獣医科大学，獣医学